

社協

おうみはちまん

～ふだんのくらしが幸せ～



子育て支援事業：つどいの広場



冬の福祉学級：ふれあいクリスマス



ガイドヘルプ



出前講座：避難所運営ゲームHUG

目次

ふだんのくらしが幸せ.....	1
平成26年度 事業計画	2
平成26年度 予算	3
社会福祉協議会「一般会費」に ご協力お願いいたします.....	4

ふくし講座.....	5
桐原学区社協ニュース.....	6
民児協だより.....	7
助成金情報・善意銀行.....	8



社会福祉法人 近江八幡市社会福祉協議会

本所 近江八幡市土田町1313
TEL: 0748-32-1781
FAX: 0748-36-6910

支所 近江八幡市安土町上出908-1
TEL: 0748-46-2571
FAX: 0748-46-5550

事業方針

社会経済環境は、依然として経済的な問題とともに様々な生活課題を深刻化させ、生活困窮に陥っている人々をめぐり課題に対する取り組みを強化することが強く求められております。国において、平成27年4月1日に施行される生活困窮者自立支援では、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を目的として、生活困窮者に対して自立相談事業の実施や、その他の支援を行うものとされています。

近江八幡市においても、平成26年度にモデル事業を実施予定で、一部社協にも事業委託される予定であり、受託に向けた体制作りを進めます。こうした中で地域に出向き、地域社会の中に浸透した活動を行うことにより、社協職員が地域から信頼され、必要とされる存在になれるよう、より一層の地域活動の推進を図りたいと考えております。

ボランティアセンター（平成25年度設立）について、一定のアウトラインはできましたが、今後実施主体として実行力を持った組織となるよう組織化を図っていく必要があると考えています。社協に求められる役割として災害ボランティアセンターの運営があり、関係機関との連携や、地域社会とのネットワークの構築を図るなど、ボランティアセンターと一体となった組織運営が図れるよう実践を進めます。

最後に、「地域福祉活動計画」（平成24年度策定）、並びに「発展強化計画」（平成25年度策定）に基づき、地域福祉の推進、事業運営、経営、ならびに職員育成の強化を図りながら事業運営を行ってまいります。

平成26年度 事業計画



重点

目標

1 社会福祉協議会の基盤強化の取り組み

地域福祉活動計画の目標を達成するために、策定を行いました発展強化計画を推進し、社会福祉協議会の基盤強化をめざします。

2 ボランティアセンターの取り組み

平成25年度に設立しましたボランティアセンターの取り組みを推進します。ボランティアセンターの運営に関しては、市民が参画したボランティアセンター運営委員会を設置し、市民が参画した運営をめざします。

3 災害ボランティアセンターの取り組み

災害ボランティアセンターの運営に向けた関係機関とのネットワークの構築をめざし、学区（地区）社会福祉協議会をはじめとした地域グループや行政と連携した取り組みを行うとともに、日頃の地域福祉活動の実践をすすめていきます。

4 生活困窮者支援の取り組み

生活困窮者自立支援制度に実施にあわせた取り組みを、市と連携して行っていきます。社会福祉協議会としても地域と連携した相談支援活動をより一層すすめていきます。

みなさまからの 会費・寄付金の財源で 社協は事業を行っています



福祉団体助成事業 (2,599千円)

- 学区(地区)社会福祉協議会の助成
- 団体助成(福祉団体・ボランティアグループ)

地域福祉活動推進事業 (2,456千円)

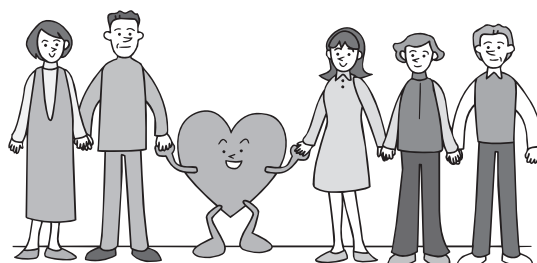
- 学区(地区)社会福祉協議会の支援
- 地域福祉推進員活動の支援
- 福祉協力員の支援
- 学区(地区)社会福祉協議会会長会の開催

広報啓発事業 (960千円)

- 広報紙「社協おうみはちまん」の発行
- 市社会福祉大会の開催

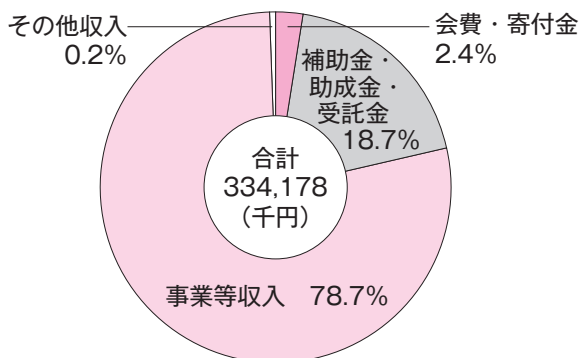
ボランティアセンター運営事業 (1,734千円)

- ボランティア活動支援
- ボランティアセンター運営委員会の開催
- ボランティアだよりの発行
- 講座の開催(ちょボラ・災害ボラ・生活支援ボラ等)
- 災害ボランティアセンターの体制整備
- ボランティア活動者同士の交流会
- 関係機関(団体)との情報交換会等の開催



一般会計収支予算額 334,178千円

収入科目	金額(千円)
会費・寄付金	8,054
補助金・助成金・受託金	62,404
事業等収入	263,076
その他収入	644
合計	334,178



平成26年度
予算

社会福祉協議会「一般会費」にご協力お願いいたします

「住み慣れた地域や家庭で安心してくらしたい…」と誰もが願っていることです。
しかし、地域にはひとりでは解決できない問題を抱え、支援を必要としている方がおられます。



実は、まったく知らないんです。
社会福祉協議会ってどんな団体？

みなさまと 福祉のまちづくり!

市社会福祉協議会は、地域の住民やボランティア・福祉・保健などの関係者、行政機関などによって構成され、地域の幅広い住民組織や関係団体の参加・協力を得て、福祉のまちづくりをすすめる公益性の高い民間非営利組織です。

住民を主体とした 活気ある運営に!

社協はどんな団体さんといっしょに
どんな活動をしているんですか？

社協は、在宅福祉サービスの提供や住民との連携による福祉活動の展開、民生委員児童委員活動やボランティア活動と連携し、みんなが安心して暮らせるまちづくりを目指して活動しており、みなさまからお寄せいただく会費は、社協が民間組織として住民を主体とした活気ある運営と、事業の推進を図るためには欠かすことのできない大切な財源のひとつです。



5月は「赤十字運動月間」

赤十字は、一刻を争う国内外の災害時の救援をはじめ、病気で苦しむ人のサポートなど、幅広い活動を行っています。そこに傷ついた命がある限り、ひとりでも多くの人を助けたい。日本赤十字の活動はみなさまからの資金協力で成り立っています。

国内災害救護 ・医療救護 ・救援物資の配分 ・血液製剤の配給 ・義捐金の受付・配分	青少年赤十字	赤十字ボランティア
	赤十字病院	看護師等の教育
国際活動	血液事業	救急等の講習



いつ、いかなる時も、命を守るために。
活動資金にご協力ください

ふくし 講座

で身近な地域のふくしについて 一緒に考えましょう！

社協職員などが自治会の学習会やふれあいサロンなど地域に出向きお話をします。
お気軽にご相談ください。



学区でのボランティア講座



福祉団体での研修会



自治会での話し合い

主 な 内 容

①支えあいの地域づくり

- ・活動をはじめにあたって(ふれあいサロン、福祉委員会、見守り活動など)
- ・福祉についての話し合い(福祉懇談会、活動の振り返り、計画づくりなど)

②ふくしの学習・体験

- ・見えないこと、聞こえないこと、車いす体験、高齢者擬似体験
- ・ボランティア講座

③防災

- ・避難所運営ゲームHUGを通して災害時のたすけあいや災害時要援護者への支援について考えよう！

④レクリエーション

- ・ふれあいサロンで使えるレクリエーションの紹介など

お問い合わせ方法

①お問い合わせ 予定日時、場所、内容、人数、対象をお知らせください。

近江八幡市社会福祉協議会地域福祉課・ボランティアセンター
〒523-0082 近江八幡市土田町1313 総合福祉センターひまわり館内
電話 (0748) 31-2677

②日時や内容についての調整をします

③当日の出前講座

社会福祉協議会職員や登録ボランティアなどで対応します

その他の機関や団体などを紹介することもできます
希望の日時に実施できない場合があります



ご存知ですか？あなたの町の社協活動

学区地区社協ニュース



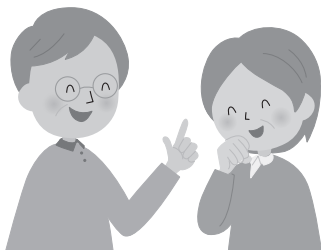
桐原学区社会福祉協議会

所在地：近江八幡市中小森町1178番地

Tel：33-3535

Fax：33-3569

ふれあいサロンの補助



平成25年度は19の自治会が実施されました。今年度は高齢者福祉対策事業の一環として活動資金の一部を助成させていただきました。

今後は1つでも多くの自治会が参加されるよう、情報交換の場などを設けてサロンの充実を図っていきたいと思います。

社会を明るくする運動

地域の住民が「心豊かに、楽しく、明るく生きる」ことは私たちみんなの願いです。お互いを思いやる心を大切に、助け合い、見守りながらくらししていくをスローガンに掲げ、毎年開催しています。平成25年度は【少年非行の現状と地域の役割】と題して、大津少年サポートセンターの込山弘子さんの講演を聞きました。

学区民大会



第2回桐原学区「平和祈念式典」

従来、遺族会の委託事業として展開されてきましたが、平成24年度より桐原学区「平和祈念式典」として、学区民のだれもが参加し、二度と過ちを繰り返されることのないよう、学区独自の平和宣言を掲げ、25年度は地域住民の斉藤茂さんに戦地での過酷な体験談をお話していただきました。

また、滋賀県平和祈念館の田中慶希さんより、県内の戦中時の様子や八日市飛行場の状況等の記録写真で説明を受けました。





こんにちは、民生委員です！（馬淵学区）



馬淵学区民児協は、11名の委員で構成した小さな組織ですが、生活弱者に対する日頃の見回りや相談活動、友愛訪問活動をはじめ、地域でのいろいろな行事や催事などを通して、出会いやふれあいを大切にしながら、各組織や団体等と連携して活動しています。

中でも平成21年度より取り組んでいる「災害時要援護者登録票」は、昨年の台風18号の避難指示発令時には、避難誘導や確認に活用されました。今年度は登録票の更新時期を迎えたため、より有機的な様式に変更し、災害等緊急時には「隣近所での助け合いと支えあい」が出来るよう、取り組みを進めています。

また、学区内全所帯全住民を対象にした「命のバトンの設置」は、各自治会の協力により毎年調査を更新し、急病者発生時の救急隊の迅速な対応に役立つ事例が報告されています。

一方、形骸化した民児協定例会の活性化のため「輪番制による課題（事例）研修」や「委員間の何でも相談」など、新たな取り組みも始めました。



「あいさつ」と「えがお」でとなり近所の助けあいと支えあいの輪を広げよう。を合言葉に活動をしています

助成金情報

共同募金助成金

近江八幡市社会福祉協議会では、共同募金の基本理念「住民相互のたすけあい」を基本として、幅広い視点から地域福祉の推進を図るため多くの団体等からの申請を募集いたします。

対象 住民の福祉向上のために活動する団体で、少なくとも1年以上の活動実績がある団体

対象事業 高齢者福祉活動
障がい児(者)福祉活動
児童・青少年福祉活動
住民全般福祉活動

助成額 総事業費の2/3 上限20万円

申請期間 平成26年5月20日(火)～
6月30日(月)

申請用紙は、
近江八幡市社会福祉協議会
にあります。(社協ホームページ
www.zc.ztv.ne.jp/ohshakyo
でもダウンロードできます)



子どもゆめ基金助成金

未来を担う夢を持った子どもの健全育成を進めるため、民間団体が実施する自然の中でのキャンプなどの体験活動、絵本の読み聞かせ会などの読書活動などへの支援を行っています。

対象 社団法人・財団法人・NPO法人・法人格を有しない地域のグループ・サークルなど、青少年教育に関する活動を行う民間の団体

対象事業 子どもの体験活動
子どもの読書活動
子供向けの教材開発・普及活動

助成額 各活動で異なるため要綱を参照

申請期間 平成26年5月1日(木)～
6月23日(月)

要綱および申請用紙は、
子どもゆめ基金ホームページ
Yumekikin.niye.go.jp
でダウンロードできます



善意 ありがとうございました

(平成26年3～4月分)



地域福祉等のため、次のとおりご寄付をいただきました。助け合いや地域福祉活動等の支援に大切に活用させていただきます。皆さまのご厚意に厚くお礼申し上げます。(敬称略・順不同)

寄付金	匿名..... 10,000円
特定非営利活動法人 e-はちまん 100,000円	長谷川博通..... 5,000円
ユニー(株)ピアゴ近江八幡店	長谷川則子..... 2,000円
“小さな善意で大きな愛の輪運動”... 19,985円	寄付物品
赤十字奉仕団八幡分団土田支部..... 10,750円	西日本日立物流サービス(株)..... 車いす10台
出町 寺本周..... 100,000円	匿名..... 米40kg